

1 道徳の目標の達成及び道徳性を養うための指導の充実

〔観点1－(1)〕 生徒が自分との関わりや自分のこととして考えられるようにするために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東 書	<p>(1) いじめ問題の対応として、全学年で「いじめのない世界へ」を設け、生徒の身近に起こりうるいじめ問題を3教材組み合わせたユニット形式で、加害者、被害者、傍観者の立場から、いじめ問題を自分のこととして考え、どう向き合っていくのかということについて深く考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、SNSを題材として、情報発信に責任をもつことや良好な人間関係について考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、東日本大震災などの題材を取り扱い、安全につながる日常の大切さを考えることで安全に対する意識を高められるようにしている。</p>
11 学 図	<p>(1) いじめ問題の対応として、読み物資料、発問と心の扉をセットで構成し、登場人物の気持ちや行動から自分ならどうするかを考えさせることで、正しく判断し、いじめを起こさない、許さない断固たる心情を養うことができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、ブログに関わる問題を取り扱い、自由に伴う責任を自分の生活と関連させて考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、日常生活の中にある災害の事例を取り扱い、災害への備えを主体的に考え、防災意識を高められるようにしている。</p>
17 教 出	<p>(1) いじめ問題の対応として、問題を様々な側面から考え、深めていけるよう複数の教材を配置している。身近な生活場面の教材から、いじめといじりの違いや正義とは何かを考えさせることでいじめをしない、させないために自分はそのような行動をとればよいかを考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、ネット依存やSNS問題を題材として、ルールやマナーを意識した情報機器とのよりよい付き合い方を、自分の生活と関連させ考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、東日本大震災や熊本地震の事例から、防災意識や共助の意識を高められるようにしている。</p>
38 光 村	<p>(1) いじめ問題の対応として、教材を学年の前半に配置し、学級づくり、友達との関係づくりに生かすことができるようにしている。全学年を通していじめ問題の解決に結びつく教材とコラムが設定されており、いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育成することができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、読み物資料とコラムが設定され、ネット依存の問題からマナーやルールについて深く考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、震災を題材として、災害を風化させることなく自分のこととして考えることで、防災意識を高められるようにしている。</p>

発行者	概 評
116 日 文	<p>(1) いじめ問題の対応として、いじめが起きやすいとされる時期に、ユニットを複数配置し、集中的かつ継続的に取り扱っている。役割演技を通して、それぞれの立場で考えさせることで、いじめと向き合い、信頼できる友達になるために必要なことは何かを自分と重ねて考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、ネットにおける著作権の問題から、ルールやマナーを守ることの意義を考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、阪神・淡路大震災でのボランティアの人々の活動から、地域や人と人とのつながりの大切さに気付かせ共助の意識を高められるようにしている。</p>
224 学 研	<p>(1) いじめ問題の対応として、いじめ問題に主体的に対処することができる力を育てるために、様々な角度から考えることができる教材を取り扱い、幅広い視点から考えさせることで、自立した一人の人間として、他者と共に人生をよりよく生きる力を育成することができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、インターネット利用によるトラブルを題材として、望ましい利用の仕方について考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、震災被災者の体験談から自分のこととして考えることを通して、安全に対する意識を高められるようにしている。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) いじめ問題の対応として、「公平、公正、社会主義」の価値項目から、いじめや差別はどんな理由があってもいけないことだということをしっかりと認識させ、いじめや差別のない学級や社会にするためにはどうすればいいのかということをも自分との関わりで考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、インターネット利用上の問題から、情報機器による望ましいコミュニケーションの在り方について考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、東日本大震災後の題材から、地域に貢献できる防災活動への意識を高められるようにしている。</p>
232 日 科	<p>(1) いじめ問題の対応として、登場人物の悩みや葛藤に共有させながら、いじめめを見て見ぬふりは、いじめを助長させることにつながることに気づかせ、資料の結末を明記せず、いじめを決して許さず、対応していく態度を自分との関わりで考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについては、SNSでのやりとりを題材として、望ましいネットコミュニケーションの在り方について考えることができるよう工夫している。安全・防災教育については、災害時に自分の命を守るための具体的な行動について考えさせることで、防災意識を高められようようにしている。</p>

1 道徳の目標の達成及び道徳性を養うための指導の充実

〔観点1－(2)〕 生徒が多角的・多面的に考えられるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東 書	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「つぶやきコーナー」を設け、教材を学習しながら思いや考えを書く機会を得るとともに、それを参考にして話し合いを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、役割演技を通じて考えたことを交流する「アクション」コーナーを設け、自分とは違う様々な立場による見方・考え方の違いに改めて気付くことができるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「学びの記録」を設け、自分の考えや友達の見解を整理する機会を得るとともに、整理した内容を参考にし、今後活かすことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、身近なことを問いに対する、自分の過去の体験を振り返る「心の扉」コーナーを設け、授業の導入又は終末で活用できるなど、道徳的価値を高めることができるよう工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「学びの道しるべ」を設け、自らの問いについて考える視点をもつ機会を得るとともに、自分の考えを書くことを通して思考を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、題材の冒頭で学習のねらいを明確にし、様々な角度から考えたり話し合ったりできるような発問を示すことで、問題をより多面的に考えることができるよう工夫されている。</p>
38 光 村	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「私の気づき」コーナーを設け、自ら問いについて考える視点をもつ機会を得るとともに、自分の考えを書くことを通して思慮を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すためにすべての題材で「学びのテーマ」を示したり、それに迫る中心発問に加え、別の立場や視点から考える発問を示したりすることにより、問題をより深く考えることができるよう工夫されている。</p>

発行者	概 評
116 日 文	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「道徳ノート」を併用することで、自分の考えたことや友達の意見を整理する機会を得るとともに、話し合いを通して思考を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために問題解決的な学習のステップの例示などを取り入れた特設ページ「学習の進め方」を設けることで、体験を通じて学んだことを友達と交流することができるよう工夫されている。</p>
224 学 研	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「深めよう」「クローズアップ」を設け、考えを整理して書く機会を得るとともに、話し合いを通してテーマについての考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、ねらいにせまる中心発問に加えて、考えを深めたり、異なる視点からさらに視野を広げたりできる設問を示すことで、問題をより広く、考えることができるよう工夫されている。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、「道徳ノート」を併用することで、生徒の気づきや考えを整理する機会を得るとともに、記述内容の振り返りを通して自分を見つめ思考を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、すべての題材で「考えを広げる・深める」を示すことで、自分との関わりで考え、様々な角度で物事を捉える問い、道徳的価値に関する思考を促す問い等、深く考えることができるよう工夫されている。</p>
232 日 科	<p>(1) 自己を見つめ、自己の考えを深めるために、自分自身の個性や能力について自己理解を深めるための特設ページ「考えてみよう」を設け、実際に行動することの難しさを考えることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」コーナーを設け、自分と向き合い、考えを書く機会を得るとともに、話し合い活動を通して、考えを広げることができるよう工夫されている。</p>

2 利便性の向上

〔観点2〕 学習効果や利便性の視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果を高めるために、教材冒頭では、生徒に投げかける形で主題が明示され、考え、議論する学習が展開できるように構成されている。また、漫画や新聞などの様々な教材を示すことで、身近な問題としてとらえたり、議論の材料として活用するなど効果的な道徳の指導ができるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、巻頭に、生徒が授業のイメージをもちやすいように、学習内容や話し合いの仕方についてのオリエンテーションのページを設けている。また、巻末に、学期ごとの自己評価用紙、書き込みのできるホワイトボード、心情の度合いを表現できる「心情円」を設け、自分の学びの変化や成長について振り返ることができるよう工夫している。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果を高めるために、各教材に「学びに向かうために」を設け、生徒が話し合いを深めたり、意見を発表しやすくできる工夫や、内容項目ごとに設けている「心の扉」を、導入や終末で活用することにより、自分を振り返り、これからの自分の生き方を考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、巻頭に、生徒が学習の流れや方法を視覚的に理解できるように「道徳の学習を始めよう」を設けている。また、巻末に「1年間の振り返り」を設け、教材ごとの「学びの記録」をもとに記入することで、自分の行動や気持ちの変化を振り返ったり、確かめたりし、そこから、これからの自分についても考えることができるよう工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果を高めるために、各題材の問いかけの工夫により、導入で見通しをもって授業に取り組めるようにしている。また、道徳的価値の理解を深めるように、各教材に「学びの道しるべ」を設けている。巻末の補充教材は、学校の実態や特色にあわせた活用で、学びを深めることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、巻頭に、学習を通して考え深めていきたいことや学習の仕方をつかむことができるよう「中学生の道徳が始まる」を設けている。また、巻末に「道徳の学びを記録しよう」を設け、1時間ごとの記録をもとに学期ごとの振り返りを行い、心に残ったことや自分の成長、次の学年で取り組みたいことを記入し、道徳的実践意欲が持続できるよう工夫している。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果を高めるために、道徳での学びが他教科や日常生活につながるように、各教材に「学びのテーマ」を設定している。また、1年間を四つの学習のまとまりに分けて配置された教材や巻末の補助教材を、学校の実態や特色にあわせて活用することで、学びを深めることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、巻頭に「道徳の時間」について説明し、巻末に「道徳を学ぶ意義」を分かりやすく図示し、対話や判断力・行動力の必要性が理解できるようにしている。また、巻末に、四つの学習のまとまりごとに、各教材で書き留めてきた「私の気づき」をもとに振り返りを記入する「学びの記録」があり、自分の学びの変化や成長を自覚できるよう工夫している。</p>

発行者	概 評
116 日 文	<p>(1) 学習効果を高めるために、各教材に「考えてみよう」「自分に+1」を設け、活発な議論ができる構成になっている。また、他の教育活動との関連を踏まえた教材配列で、学ぶ必然性を感じ、問題を捉えやすくしている。重要テーマには、教材とコラムを配置し、実態に応じた活用ができるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、別冊のノートは、教材ごとに学習を振り返り、自分や友達の考えを書く活動を通して、自分の学習状況や考え方の変化・成長を実感することができるように1教材1ページで構成され、発問例などを掲載している。また、巻頭に「道徳で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を設け、道徳を学ぶ意義や学び方を理解できるよう工夫している。</p>
224 学 研	<p>(1) 学習効果を高めるために、学習の道筋を特設ページ「深めよう」に提示し、生徒が広い視野から意見をもち、問題解決的な学習に取り組みやすくしている。また、主題名を教材中に記載しないことで、特定の価値観を押しつけることなく、生徒の問題意識を大切にしたい授業が展開できるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、巻頭に「道徳で学ぶこと・考えること」を設け、生徒が目的意識をもって主体的に学習に取り組める構成となっている。また、巻頭に「自分をみつめるページ」、巻末に「学びを振り返るページ」を設け、生徒が1年間の自分の成長を感じ、これからの生き方を考えることで、主体性や自尊感情を高めることができるよう工夫している。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 学習効果を高めるために、各教材に「考える・話し合う」を設け、学習の手がかりを示したり、特設の「thinking」で現代的な課題を提示したりすることで、生徒が自ら課題意識や問題追及への意欲を高め、主体的・対話的な学習を通して道徳的諸価値について深く思考することができるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、別冊ノートは、内容項目（学習指導要領22項目）の順に配列され、生徒が1年間の蓄積をもとに成長を振り返ることができ、教師がイメージする授業展開等により活用できる構成となっている、また、巻頭に「道徳の時間とは」を設け、生徒が主体的・協働的な学びによる道徳の時間の学習に期待をもつことができるよう工夫している。</p>
233 日 科	<p>(1) 学習効果を高めるために、思考と議論を年単位で積み重ねることができるように、発達段階を踏まえ、学年間につながるのある教材を用いている。また、教材ごとの「考え話し合って深めよう」で、今の自分について気づかせたり、特設の「考えてみよう」で自分のことを再認識できるよう工夫している。</p> <p>(2) 利便性を高めるために、巻頭に「道徳で学ぶこと」「教科書の使い方」を図を使って分かりやすく示している。巻末に、道徳科の学習及び道徳性について振り返るページを並べ、心の成長を数値化して評価することで1年間の学習の成果を客観的に振り返ることができ、次の学年で取り組みたいことや理想とする人間像を記入することで道徳的実践意欲が持続できるよう工夫している。</p>

3 地域の願いや思い及び生徒の実態等への配慮

〔観点3〕 家庭や地域の願いや思い及び生徒の実態等を踏まえ、生徒にとって分かりやすさの視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東 書	<p>(1) 家庭や地域との連携については、巻末付録「郷土のことを考える」で地域の人物や伝統文化、技術や産業の写真資料を取り上げることで、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、資料のタイトル下部で各教科との関連を意識させることで、各教科で学んだことを道徳科の学習に生かし、地域や家庭での実生活に広げて考えることができるよう工夫している。</p>
11 学 図	<p>(1) 家庭や地域との連携については、教材毎や一年間の振り返りスペースを設定し、また巻末の「保護者の方へ」において、この教科書で目指すことを明確に示すことで、家庭教育との連携を図ることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「大切な10のポイントのマーク」で教材に関連した内容を明確にし、地域や人物に対する繋がりを分かりやすくすることで、生徒がより深く考えることができるよう工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 家庭や地域との連携については、「補充教材」において家庭や地域における集団生活に関する内容を多く取り上げることで、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、多彩な人物や様々な地域と関わりのある教材を取り上げ、巻末の「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」から自己の生き方についての考えを広げることができるよう工夫している。</p>
38 光 村	<p>(1) 家庭や地域との連携については、「学びの広場」において日本の郷土玩具や、日本各地の世界遺産、日本の先駆者たちが紹介されており、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、コラム「人と人との関係づくり」のページを設定し、コミュニケーションスキルを学ぶ活動を通して、家庭で話題として取り上げることができるよう工夫している。</p>

発行者	概 評
116 日 文	<p>(1) 家庭や地域との連携については、今を生きる人たちや先人たちの生き方を通して誇りや思いに焦点を当て、その意義を考えることで、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「プラットフォーム」で教材と関連した内容や活動を例示し、先人の知恵や伝統文化に対する思いを考えさせることで、生徒がより深く考えることができるよう工夫している。</p>
224 学 研	<p>(1) 家庭や地域との連携については、巻頭に自分を見つめるページ、巻末に一年間の学びを振り返るページが設定され、一年間の成長を振り返ることで集団や社会とのかかわりについて考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、特設の「クローズアップ」や「深めよう」で生徒が広い視野から考えを深めることで、家庭や地域でよりよい生活を送るための資質を身に付けることができるよう工夫している。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 家庭や地域との連携については、巻末資料において、現代社会の課題が紹介されており、教材の内容と関連させることで、家庭や地域社会とのかかわりについて、視点を変えて考えを深めることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、別冊道徳ノートで、それぞれの内容項目及び道徳的価値について、理解しやすい平易な文章で、日常生活での具体的な行動の在り方について考えることができるよう工夫している。</p>
232 日 科	<p>(1) 家庭や地域との連携については、家族とのかかわりや家庭での出来事、地域との交流が描かれた教材を通して、生徒が主体的に家庭や地域とのかかわり方を考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、特設のコーナーを教材の内容と関連させて活用することで、考えを深めることができるようになり、生徒が家庭や地域における自分の役割を再認識できるよう工夫している。</p>

中学校「特別の教科 道徳」研究のまとめ

発行者	概 評	備 考
2 東 書	<p>(1) いじめ問題の対応として、全学年で「いじめのない世界へ」を設け、加害者、被害者、傍観者の立場から、自分のこととして考え、どう向き合っていくのかということについて深く考えることができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、役割演技による「アクション」コーナーにより、様々な見方・考え方の違いに改めて気付くことができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、教材冒頭では、生徒に投げかける形で主題が明示され、考え、議論する学習が展開できるように構成されている。また、漫画や新聞など様々な教材を示すことで、効果的な道徳の指導ができるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、話合いの仕方についてのページを設け、巻末には、自己評価用紙、書き込み用ホワイトボード、「心情円」を設け、自分の学びの変化や成長を振り返ることができるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、巻末付録で地域の人物や伝統文化、技術や産業を写真で取り上げ、地域の伝統や文化を愛し、貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p>	<p>1年P24～34</p> <p>1年P46～47</p> <p>1年P17</p> <p>1年P30～31</p> <p>1年P84～85</p> <p>1年P3</p> <p>1年P177</p> <p>1年P174～175</p>
11 学 図	<p>(1) いじめ問題の対応として、読み物資料、発問と心の扉をセットで構成し、主体的に自分との関わりで、正しく判断しいじめを起こさない、許さない断固たる心情を養うことができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、「心の扉」コーナーを設け、授業の導入又は終末で活用するなど、道徳的価値を高めることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、各教材の「学びに向かうために」で、活発な話合いや意見発表ができる工夫や、「心の扉」の活用により、自分を振り返り、生き方を考えることができるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、学習の流れや方法を理解できるように「道徳の学習を始めよう」を設け、巻末には、各教材の「学びの記録」を基にした「一年間の振り返り」を設け、自分の変化を振り返り、これからの自分について考えることができるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、巻末の「保護者の方へ」において、この教科書で目指すことを明確に示し、家庭教育との連携を図ることができるよう工夫している。</p>	<p>1年P218～219</p> <p>1年P19</p> <p>1年P18～19</p> <p>1年P2～3</p> <p>1年P220～222</p> <p>1年P223</p>

発行者	概 評	備 考
17 教 出	<p>(1) いじめ問題の対応として、様々な側面から考え、深めていけるよう複数の教材を配置し、身近な生活場面で、いじめといじりの違いや正義とは何か、どのような行動をとればよいかを考えることができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、題材の冒頭で学習のねらいを明確にし、様々な角度からの発問を示すことで、問題をより多面的に考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、各教材に「学びの道しるべ」を設け、道徳的価値の理解を深めるようにしている。巻末の補充教材は、学校の実態や特色に併せて活用することで、学びを深めることができるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、「中学生の道徳が始まる」を設け、考えを深め、学習の仕方をつかむことができるようにしている。巻末には、「道徳の学びを記録しよう」を設け、自分の成長、次学年での目標を記入し、道徳的実践意欲が持続できるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、「補充教材」で家庭や地域での集団生活に関する内容を多く取り上げ、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p>	<p>1年P3 1年P38～45 1年P96～99 1年P11 1年P165 1年P2～3 1年P190～192 1年P180～189</p>
38 光 村	<p>(1) いじめ問題の対応として、学級づくりの基礎となる各学年の前半にいじめ問題の解決に結びつく教材とコラムを合わせて配当し、いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育成できるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために「学びのテーマ」や、それに迫る中心発問に加え、別の立場や視点から考える発問を示し、問題をより深く考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、各教材に「学びのテーマ」を設け、道徳での学びが他教科や日常生活につながるようにしている。また、四つのまとまりで配置された教材や巻末の補助教材を活用することで学びを深めることができるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、「道徳の時間」、巻末には、「道徳を学ぶ意義」を提示し、対話や判断力・行動力の必要性が理解できるようにしている。また、各教材の「私の気づき」で、自分の学びの変化や成長を自覚できるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、「学びの広場」で日本の郷土玩具、世界遺産、先駆者たちが紹介され、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p>	<p>1年P2～3 1年P60～65 1年P11 1年P11 1年P2～3 1年P218～219 1年P4～5 1年P218～219 1年P11 1年P216～217</p>

発行者	概 評	備 考
116 日 文	<p>(1) いじめ問題の対応として、いじめが起きやすいとされる時期に、ユニットを複数配置し、集中的かつ継続的に取り扱っている。役割演技を通して、いじめと向き合い、自分と重ねて考えることができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、特設ページ「学習の進め方」を設けることで、体験を通じて学んだことを友達と交流することができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、各教材に「考えてみよう」「自分に＋1」を設け、議論を活発にする構成になっている。また、重要テーマには、参考でコラムを配置し、実態に応じた活用ができるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、「道徳で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を設け、意義や学び方を理解できるよう工夫している。別冊のノートでは、自分や友達のことを書く活動を通して、自分の学習状況や考え方の変化・成長を実感することができるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、今を生きる人たちや先人たちの生き方を考えることで、伝統や文化を愛し、地域に貢献しようとする態度を育成できるよう工夫している。</p>	<p>1年目次</p> <p>1年P41</p> <p>1年P28～47</p> <p>1年P26～27</p> <p>1年P10</p> <p>1年P48～49</p> <p>1年P2～3</p> <p>別冊ノート P2～3</p> <p>1年P171</p>
224 学 研	<p>(1) いじめ問題の対応として、主体的に様々な角度から考えることができる教材を取り扱い、自立した一人の人間として、他者と共に人生をよりよく生きる力を育成することができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、中心発問に加えて、考えを深めたり、異なる視点からさらに視野を広げたりできる設問を示し、問題をより広く、考えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、学習の道筋を特設ページ「深めよう」に提示し、問題解決的な学習に取り組みやすくしている。また、主題名を教材中に記載せず、特定の価値観を押しつけることなく生徒の自発的な問題意識を大切にしたい授業が展開できるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、「自分を見つめるページ」、巻末には、「学びを振り返るページ」を設け、生徒が1年間の自分の成長を感じ、これからの生き方を考えることができるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、巻頭で自分を見つめ、巻末に学びを振り返るページが設定され、集団や社会との関わりについて考えることができるよう工夫している。</p>	<p>1年P24～26</p> <p>1年P118～119</p> <p>1年P27</p> <p>1年P10</p> <p>1年P9</p> <p>1年P179</p> <p>1年P9</p> <p>1年P179</p>

発行者	概 評	備 考
232 廣あかつき	<p>(1) いじめ問題の対応として、「公平、公正、社会主義」の視点から、いじめや差別は決して許されないことだということを認識させ、いじめや差別のない学級や社会にするために、主体的に自分との関わりで考えることができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、「考えを広げる・深める」を示し、自分との関わりで考え、様々な角度で物事を捉えることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、各教材に「考える・話し合う」を設け、学習の手掛かりを示したり、特設の「thinking」で現代的な課題を提示したりすることで、主体的・対話的に学習に取り組むことができるよう工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、「道徳の時間とは」を設け、主体的・協働的な学びによる道徳の時間の学習に期待をもたせるよう工夫している。別冊ノートでは、1年間の蓄積をもとに成長を振り返ることができるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、巻末資料で、現代社会の課題が紹介されており、家庭や地域社会との関わりについて、視点を変えて考えを深めることができるよう工夫している。</p>	<p>1年P36～41</p> <p>1年P5</p> <p>1年P5</p> <p>1年P99</p> <p>1年P2～3</p> <p>別冊ノートP60</p> <p>1年P174～177</p>
233 日 科	<p>(1) いじめ問題の対応として、いじめを見て見ぬふりは、いじめを助長させることにつながることに気付かせ、資料の結末を明記せず、生徒の思考に委ねながら主体的に考えることができるよう工夫している。多様な考えに触れさせ、多面的・多角的な見方や考え方を促すために、図や絵のみで構成された教材を設けることで、自分について振り返り、話し合いを通して、考えを広げることができるよう工夫している。</p> <p>(2) 学習効果を高めるために、発達の段階を踏まえ、学年間につながるのがある教材を用いている。また、教材ごとの「考え話し合って深めよう」や特設の「考えてみよう」で自分を再認識できるように工夫している。利便性を高めるために、巻頭には、「道徳で学ぶこと」「教科書の使い方」を図を使って示している。巻末には、振り返るページで、心の成長を数値化して評価したり、次の学年で取り組みたいことや理想の人間像を記入したりすることで道徳的実践意欲が持続できるよう工夫している。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携については、家族との関わりや家庭での出来事、地域との交流の教材を通して、主体的に家庭や地域との関わり方を考えることができるよう工夫している。</p>	<p>1年P107</p> <p>1年P70～71</p> <p>1年P130～133</p> <p>1年P12</p> <p>1年P72</p> <p>1年P4～6</p> <p>1年P190～191</p> <p>1年P108</p> <p>1年P144</p>